

議会だより

清水町

2013年(平成25年)11月

No. 135

発行 北海道清水町議会
編集 清水町議会運営委員会
〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目
☎62-3317 FAX62-5160

平成24年度決算を認定

一般会計歳出決算額、77億1227万円

第7回定例会

第7回定例会は9月17日に開会、27日までの11日間を会期として開かれました。

町からは、行政報告2件が示されたほか、条例の一部改正、7会計の補正予算、平成24年度一般会計を含む8会計の決算認定、物品の取得(スクールバス)等の提案があり、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。

また、24日の一般質問では4人の議員が登壇し、7項目にわたり理事者へ質問を行いました。

平 成24年度一般会計を含む8会計の歳入歳出決算について、9月25日・26日の本会議で審議を行い、全会計の決

算を認定としました。

一般会計決算では、歳入78億6910万円に対し、歳出77億1227万円となり、差引き1億

5683万円

については、翌年度に282

5万円を繰り越し、残りは財政調整基金へ

積み立てる処理が行われま

した。

決算の結果、平成24年度末

の町の基金(預金)の総額は27

億5800万円

9000万円増加しました。また、全会計を合わせた町債借金の現在高は、90億9000万円となり、前年度と比較して、2億9483万円減少しました。

審議では、各議員から、各事務事業について、当初の目的達成のため、どのように効果的に予算が執行されたかについて質疑がありました。

平成24年度に実施された事業として、古潭橋架替整備事業、町営住宅建替事業、地域密着型老人福祉施設整備助成事業、開町110年記念事業、消防庁舎建設予定地購入等が行われました。

決算審議

一般会計決算における質疑・答弁を一部掲載します。

Q コミュニティバスの利用者が減となつているが、改善策は。

A 利用しやすいように、フリー降車制度や回数券の導入などを実施しているが、今後は利用者の声を聴きながら、運行時刻や運行経路の更なる見直しを行う。

Q 二十勝清水 人・四季塾の参加人数と効果は。

A まちづくりのリーダー養成を目的に、平成23・24年度の2か年開催し、第1期生として18名が受講した。今後、第1期生の活動の機会を検討していきたい。

Q さわやかプラザの利用者数が増加しているが、要因は何か。機器なども新たに購入しているのか。

A 昨年度に実施した、半年券の値下げと65歳以上の利用無料化により、利用者が増加したと思われる。機器については、ウォーキングマシンを2台購入している。

Q 緊急通報システムについて、通報数は増えているのか。また、設置拡大への取り組みは。

A 通報の数は当初に比べると減ってきており、現状では年に2〜3件程度である。通報システムは、平成24年度末で約130台を保有しており、町民から要望があれば、随時設置していく。

Q 資源ごみの売払い料が、前年度と比較して減少しているが、理由は。

A 前年度に比べて、収集した資源ごみの量は多いが、新聞紙やアルミ缶など買取り単価の高い資源ごみの単価が引き下げられたことが原因だと考えられる。

Q 農地集団化事業について、昨年度は御影鉄南地区の交換分合事業が行われたが、他の地区でも実施する予定は。

A 今後、各地区から要望等が出てくると思うが、精査しながら、検討していきたい。



古潭橋架替整備事業は平成22年度から開始、昨年終了し開通した